

令和3年度第1回北秋田市総合教育会議 会議録

1. 開催期日 令和3年5月27日（木）
2. 開催場所 北秋田市民ふれあいプラザコムコム 大研修室
3. 開会及び閉会 開会：午後1時30分 閉会：午後3時10分
4. 出席者 北秋田市長 津谷 永光
＜北秋田市教育委員会＞
教育長 佐藤 昭洋
委員 佐藤 正俊
委員 佐藤 英樹
委員 蒔苗 隆
委員 藤本 基子
5. 欠席委員 なし
6. 出席職員 ＜教育委員会事務局＞
教育次長 小坂 竜也 総務課総務係長（書記） 工藤 留理子
総務課長 金田 浩樹 北部学校給食センター所長 福田いずみ
学校教育課長 山田 理 義務教育係長
生涯学習課長 小塚 重光 生涯学習係長 成田美穂子
スポーツ振興課長 藤野 義則 文化係長 三澤 照美
スポーツ係長 松橋 康浩
7. 案件 (1) 北秋田市教育大綱策定について
(2) 令和3年度主な教育施策について
(3) 意見交換

8. 会議録

小坂教育次長	<p>ただいまから、令和3年度第1回北秋田市総合教育会議を開会いたします。 はじめに、津谷市長からご挨拶をお願いします。</p>
津谷市長	<p>大変お忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございました。 日頃、委員の皆様には、北秋田市の教育行政に対しまして一方ならぬご尽力ご協力をいただいておりますことに、この場をお借りしまして心から厚く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。</p> <p>まずは、この新型コロナウイルスの感染症対策でありますけれども、収束に向けて大きな一歩となります高齢者ワクチンの接種が、市民ボランティアの皆様のご協力をいただきながら、鷹巣体育館等を会場に始まっています。</p> <p>希望する皆様方がスムーズに、そして安全にストレスなくワクチンを接種できるように、引き続き医療関係の方々との連携を密にしながら進めて参りたいと考えているところでございます。</p> <p>今しばらく続くことになるコロナ禍ではありますが、新しい生活様式とともに、これらをしっかりと見据えた取り組みを推進しながら、乗り越えて前へ進んでいきたいと思っているところであります。</p> <p>令和3年度は、第2次北秋田市総合計画における後期基本計画の初年度として、重点プロジェクトと位置付けます「第2期北秋田市まちひとしごと創生総合戦略」とともに、SDGsの理念を踏まえながら、持続可能なまちづくりをスタートさせて参りたいと考えているところであります。</p> <p>知恵を絞って汗をかいて、今できること、今やらなければならないことを全庁一丸となって取り組むことで、将来都市像として掲げます「住民が主役の“もり”のまち」のさらなる充実を図って参りますので、一層のご理解とご協力を賜りますように、心からお願い申し上げます。</p> <p>さて、教育委員会部局に係る重点事業といたしまして、伊勢堂岱遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」についてでありますけれども、昨日、登録にふさわしいとイコモスの勧告が出されました。</p> <p>7月の正式決定に向けまして、悲願であります世界遺産の登録実現に向けて、あと一歩という秒読み段階に入っているところであります。</p> <p>今朝、コムコムの垂れ幕もイコモスの勧告にありましたように「登録にふさわしい」と替えたところでありますが、気を引き締め直して、関係自治体はじめ様々な関係機関と連携を深めながら、遺跡の魅力発信に努め、機運を高めて参りたいと考えているところでございますので、委員の皆様方の一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。</p>

津谷市長	<p>合川公民館の改築事業につきましては、昨年度に解体工事を完了して、いよいよ本体工事に着手いたしますので、地域づくりの拠点施設として、令和4年4月供用開始を目指し、準備に万全を期して参りたいと考えているところであります。</p> <p>本日の総合教育会議であります。教育大綱の策定と、今年度の主要な教育施策が議題の中心となっております。</p> <p>コロナ禍においても前へ進むことができるように、教育委員の皆様方からの忌憚のないご意見やご発言をいただきますようお願いを申し上げ、開会にあたりましての私からのごあいさつとさせていただきます。どうかよろしく願いいたします。</p>
小坂教育次長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、佐藤教育長から挨拶をお願いします。</p>
佐藤教育長	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言は、23日から沖縄を含めた10都道府県に発令されまして、まん延防止等重点措置が8県に出され、本県でも秋田市が警戒レベル4となるなど、感染症が改善されていないという厳しい状況であります。しかしながら、これまで北秋田保健所管内で感染者が少ない状況になっているということは、子どもたちを始め、市民の皆様意識や予防対策が一定の成果を出しているのではないかと私は感じております。</p> <p>これから気温が高くなると、子どもたちのマスクの着用など厳しい状況が予想されますが、昨年度末までに全小中学校に整備できたエアコンや、サーキュレーターなどを活用して、感染症対策には一層配慮して参りたいと考えております。</p> <p>さて今年度、先ほど市長の挨拶でもありましたように、第2次北秋田市総合計画後期基本計画がスタートしました。その計画に合わせ、教育委員会では第2次北秋田市学校教育ビジョンと、北秋田市スポーツ推進計画を策定しました。新たな計画のもと、学校・家庭・地域・行政の連携を図りながら、活力ある教育行政が推進できるものと期待しております。</p> <p>今年度の学校の様子を2校紹介いたします。4月6日、旧鷹巣南中学校校舎を改築した清鷹小学校で皆さんにご参列いただきながら、開校式を行いました。校旗やステージ幕に刺繍された小猿部川の清い流れと、たくましく飛び立つ鷹の文様の校章がとても印象的で、新しい校歌を聞いた時には、新しい学校のスタートによって子どもたちや保護者、地域の方々が一体となった学校づくりをしてくれるのであらうと期待が膨らむ令和3年度となりました。</p> <p>5月6日、初めてとなる運動会、あの日雨が降りまして、途中からの雷雨のために、11日と2日間にわたる運動会となりましたが、たくさんの地域の方々も訪れていました。300mトラックという小学校にしては広いグラウンドで、2年生の遊競技では「開校記念デカパン競争」など、開校を記念した様々な競技が繰り広げられておまして、子どもたちが笑顔と元気いっぱい活動しておりました。</p>

佐藤教育長	<p>11日、同じ日ですが、清鷹小学校の運動会を見た後に、鷹巣東小学校をフラッと訪問してみました。突然の訪問ではありましたが、各学級の授業の様子を見て回ったら、1年生と5年生が1人1台情報端末を活用した授業を行っていました。1年生は自分のタブレットを使って、友達の写真を取り合い、機械操作になれる活動をしていました。5年生は社会科の授業で、農業体験の田植え前に、稲作のことについてインターネットを使って検索するという学習を行っていました。国のGIGAスクール構想を活用して、昨年度末までに全小中学校に導入した情報端末が、早速学校で活用されている様子を見て、本市の教職員の意識の高さを感じたところです。教育委員会といたしましても、今年度から市の教育センターにICT活用推進部会を組織し、各学校での情報端末の利活用についてバックアップしていきたいと考えております。</p> <p>昨年度は、すべての小中学校で学校運営協議会が設立されまして、地域と学校が共同して活動する仕組みができ、ふるさと教育、キャリア教育の取り組みを応援するために、2年間かけて完成させた郷土資料集「きりり☆きたあきた」の活用も始まりました。今年度は、一層充実した取り組みを展開できればと考えています。</p> <p>本日の総合教育会議では、教育委員会の今年度の主な教育施策について事務局からの提案がありますが、委員の皆様からも忌憚のないご意見をいただきますようお願いし私の挨拶とさせていただきます。</p>
小坂教育次長	<p>ここで次第にはございませんが、案件に入ります前に、先ほど市長の挨拶にもありました、伊勢堂岱遺跡を含みます「北海道・北東北の縄文遺跡群」イコモス勧告について、学芸員であります生涯学習課榎本副主幹より紹介をさせていただきます。</p>
榎本生涯学習課副主幹	<p>榎本と申します。重要な案件についてはこの後、小塚生涯学習課長が説明いたしますので、私からは概要についてざっとおさらいさせていただきます。</p> <p>2006年に世界遺産が自治体からの立候補、ボトムアップに変わって、最初は秋田のストーンサークルとして立候補しました。その後、ご存知のように北東北・北海道という4道県の枠組みに変わって、途中、なかなか国内の推薦候補にならないという、皆さんには非常に歯がゆい思いをされた時期もあったかと思いますが、昨日やっと勧告を受けました。しかもその勧告の内容は、ただし書きのないもので、これは過去の日本の世界遺産登録勧告の中では珍しいことです。他は構成資産の数を減らせとか、コンセプトの建て直しとか、そういうこともありましたが、非常に今回はうまくできたなという印象があります。そういう歯がゆい時期があった分、しっかりと準備ができたのではないかなと、今では思っております。ということで、世界遺産に間もなくなるということですが、今日、早速市長の方から具体的な今後の指示が出ましたので、我々も歩みを止めることなく、ボランティアをはじめとした市民の方々と一緒になって、遺跡を活用して、そして北秋田市に貢献したいと思っております。以上です。ありがとうございます。</p>
小坂教育次長	<p>ここで、榎本副主幹は視察の対応がございましたので、退席させていただきます。</p>

小坂教育次長	<p>それでは案件に入らせていただきます。</p> <p>北秋田市総合教育会議運営要綱第3条第3項の規定によりまして、議長は市長が行うことになっておりますので、市長に案件の進行をお願いいたします。それでは、よろしくをお願いいたします。</p>
津谷市長	<p>それでは要綱に従いまして、議長を暫時務めさせていただきますので、ご協力のほどをよろしくをお願いいたします。早速案件の方に入らせていただきます。</p> <p>案件（1）の北秋田市教育大綱策定について、これについての説明をお願いします。</p>
金田総務課長	<p>北秋田市教育大綱の策定についてご説明いたします。</p> <p>教育大綱については、平成27年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正によりまして、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の方針を、地方公共団体の長、いわゆる市長が定めることとされてございます。</p> <p>同じく平成27年に、文部科学省からの通知によりまして、各分野の計画における、施策の方針の部分が大綱に代える場合は、別途大綱を策定する必要はないとされ、当市においてはこれを適用して各分野の計画の方針を大綱として定めてきましたが、今年度から第2次北秋田市総合計画後期基本計画がスタートするにあたり、教育行政の根本となる方針を教育大綱として改めて定めるものでございますのでご協議をお願いします。</p> <p>それでは1ページ目でございます。「1 策定の趣旨」は、ただ今申し上げたとおりでございます。</p> <p>「2 基本的な考え方」としましては、後期基本計画における教育の施策の方針を踏まえて、方針を示すものでございます。</p> <p>次ページ、「3 期間」は、後期基本計画と同じく令和7年度までの5年間としてございます。</p> <p>「4 基本理念」、これは市総合計画における子育て、教育分野の基本理念であります「命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり」と設定してございます。</p> <p>「5 基本方針」、学校教育分野として、1) 心豊かでたくましい人間性を育む教育の充実。生涯学習文化財分野として、2) 学びを通じた協働による地域づくり。スポーツ振興分野として、3) スポーツを通じて市民が健康で活力ある元気な北秋田、としてそれぞれに目標を設定してございます。</p> <p>教育大綱については以上でございます。よろしくご協議をお願いいたします。</p>
津谷市長	<p>それでは、ただいま説明がございました内容につきまして、ご意見やご質問があればお聞きしたいと思います。でございますでしょうか。</p>

委員	特にありません。
津谷市長	それではご意見ご質問がないようですので、教育大綱につきまして、原案のとおり決定ということでよろしいでしょうか。
委員	はい。
津谷市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>皆さんの同意をいただきましたので、大綱につきましては原案のとおり策定させていただきます。</p> <p>次に、案件（２）の令和３年度の主な教育施策について、各課からそれぞれ説明をお願いします。</p> <p>始めに、学校教育関係につきまして、総務課と学校教育課から説明をお願いします。</p>
金田総務課長	<p>それでは３ページをお願いいたします。</p> <p>始めに総務課の主な教育施策をご説明いたします。</p> <p>１．学校施設・設備の整備事業でございますが、ここに記載のとおりでございますが、主なものとしまして、森吉中学校と合川中学校のトイレの洋式化工事を予定しております。これにより、市内小中学校 13 校中、12 校で洋式化となります。また、清鷹小学校の遊具及び花壇、菜園の設置も今年度予定してございます。</p> <p>２．あきたリフレッシュ学園と教育留学の推進事業でございます。あきたリフレッシュ学園ですが、市内小学生 1 名、中学生 3 名、市外小学生 3 名、中学生 4 名の合計 11 名でスタートしております。現在は 1 名増えまして、12 名となっております。様々な要因から、学校に登校できなくなった児童生徒に対しまして学校復帰に向けた心身の回復に、引き続き支援をして参りたいと考えてございます。</p> <p>一方、教育留学推進事業でございますが、秋田県教育委員会の委託事業で、県境を越えた移動を伴う事業でございます。昨年来、コロナ禍によりまして、受け入れを休止してございます。今年度当初からの再開に向けて、秋田移住オンラインツアー等で PR をしてきましたが、依然として新型コロナウイルス感染症が全国的に猛威を振るっており、感染状況を注視しながら、今後の再開時期を見極めていかなければならないというふうに考えてございます。</p> <p>３．学校統合に伴う学校施設整備の整備計画の検討でございます。阿仁地区の 2 小学校 1 中学校を一つの学校とする再編プランの方針による実際の統合時期や校舎等の整備について、今年度検討していく必要がございます。併せまして、森吉地区の小学校についても同様に、統合について具体的な検討が必要だと考えております。</p> <p>４．安心安全な学校給食の提供でございます。学校給食につきましては、適切な栄養の摂取はもちろんのこと、食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることや、地域のすぐれた伝統的食文化についての理解を深められるように取り組み、また、食</p>

金田総務課長	<p>物アレルギー対応、食中毒防止、事故防止に細心の注意を払いながら、安心、安全でおいしい給食の提供に努めて参りたいと考えてございます。</p> <p>総務課は以上でございます。</p>
津谷市長	<p>続きまして、学校教育課お願いします。</p>
山田学校教育課長	<p>資料4ページをご覧ください。</p> <p>学校教育課の主な教育施策です。まず、三つを考えております。</p> <p>1. 第2次北秋田市学校教育ビジョンの具現化ということであります。(1) 特に全教職員にビジョンの内容を周知するというのが、まずは最初の取り組みというふうに考えています。そこで、現在、市校長会との連携を図っているところです。具体的には、評価システムを活用しながら、校長の学校経営評価。三つの項目があるわけですが、その三つを、学校教育ビジョンの重点目標、1から3があります。またそれは、先ほどご説明がありましたが、教育大綱の「心豊かでたくましい人間性を育む教育の充実」の目標①②③と関連付けるようにしているところであります。特に重点目標の3については、確実にしっかりと設定して、全ての学校において取り組むということを考えているところです。この後、6月1日、4日に校長面接を行うことになっておりますが、各校の取り組み内容を確認しながら、進めていきたいと考えているところです。</p> <p>(2) 市教育センターに新設したICT活用推進部のICT教育ですが、今週、早速第1回の部会を行いました。今週の内容としましては、まず各校の状況、コンピューターの状況と実際に動かしてみようかということ、推進部員の方々から聞いて、不具合等があればすぐに対応するという。また、この後、どういうふうにやっていくことができるかということの情報共有をしたところであります。</p> <p>(3) 「きらり☆きたあきた」については、作成した当時と内容を修正するところ、新たに内容を更新したというところもありますので、加除修正したものを発行できるように着手したところであります。</p> <p>2. 教職員の働き方改革であります。(1) の取り組みですが、先日の校長会で、市内13校の先生方の時間外在校等時間の学校ごとにまとめたものを、私どもの方で資料にして校長先生方に提供し、話し合いをしていただきました。市内13校の全体の様子を見て、他の学校と比較し、自分が勤務する学校の実態を明らかにすることができたのではないかと思いますし、今後どのように取り組んでいけばいいかというところを、校長先生方もいろいろと気付かれたところもあると思いますので、それについてもその取り組みをバックアップしていきたいと考えているところです。(2) (3) の取り組みについては、昨年と同様になりますけども、まず校務支援システムを有効にしっかりと活用を促していく。そして、最終的には、働き方改革。先ほど話しましたが時間外在校等時間の削減につなげていきたいというふうに考えているところです。</p>

山田学校教育課長	<p>3. 小中学校の再編については、先ほど金田総務課長が説明しましたので割愛させていただきますが、(2) 前田小学校、米内沢小学校の統合についても、今後の教育委員会会議等に諮りながら進めていく予定となっております。</p> <p>学校教育課からは以上でございます。</p>
津谷市長	<p>ありがとうございました。それぞれ、総務課、学校教育課から説明ありました。皆さんからご意見、ご質問をお聞きしたいと思いますのでよろしく願いいたします。</p>
佐藤正俊委員	<p>学校教育課長にお聞きしますが、先ほどICT化についてのお話がありました。学校の代表の方々が集まって、活用、あるいは課題について話し合いをしたということでしたが、学校は新年度スタートしてまだ2ヵ月ほどなのですが、どういう課題が出ていたのかわかる範囲で教えていただきたいのですが。</p>
山田学校教育課長	<p>当初の予想どおりにいかなかったとか、繋がるスピードとかですね、実際に会話をしてみての音量の問題とか、そういう微調整の部分で、まだまだやりながら、使いながら、把握していかなければいけないと考えています。学校の規模とか作りとか、そういうのが関係して当初考えていたのとはうまくいかなかったところもあったりするので、そういう点でこれから使いながら調整していくというところが共通していたのかなと思います。</p> <p>あと、学校のスケジュールもありまして、先ほど教育長の話にもありましたが、子どもたちが使ったところもありますし、まだ、まず先生たちでやっているところもあり、状況を把握しているところです。</p>
佐藤正俊委員	<p>大変難しいと自分でも想像しているのですが、例えば、学校で何か起きた時にすぐ動ける先生や担当者というのは、それぞれ学校にきちんといるものですか。</p>
山田学校教育課長	<p>そういう人を今回推進部員ということで選んでもらいましたので、その人たちが先頭に立って引っ張っていくという形となっております。</p>
佐藤正俊委員	<p>私はまだガラケーの携帯電話しか使っていないのですが、今の若い先生方、あるいは子どもたちの様子を見ると、あっという間に使えているのですね。そうすると、今回各学校にパソコンは1人1人に渡っているわけですが、即使えるものなのですか。先ほど教育長からもお話ありましたけれども、どういう状況ですか。</p>
山田学校教育課長	<p>すぐに使いたいとなれば、すぐに使えるような状況にしておくというのを基本としております。ただ、ある学校では、休み時間の時に不具合が生じたようで、休み時間は使わないようにしようとか、使い始めることによって、子どもたちや学校に応じた細かなルールというのも生まれ始めているというのも現状かと思えます。</p>

佐藤正俊委員	そうすると保管場所はどうなっているのですか。それぞれ学校任せか、それとも鍵をかける所、あるいは教室にしているのか、どうしていますか。
山田学校教育課長	保管場所の設定はしております。ですがその場所についても、いざ使い始めたところ、各学校の校舎の配置等に応じて使いにくいとかそういうがあるので、今後検討するということで、そういう事を先日の推進部会で情報交換したところです。
佐藤正俊委員	他市町村に比べると、北秋田市はとても早く準備に取りかかって、もう完全にそれぞれの子どもに渡っているわけですが、多額の予算をかけて準備したと思われま。す。ですからしっかりした使わせ方のルールを決めて、使われないような状態ではなくて、使われる状態をしっかり作ってほしいと思います。
山田学校教育課長	使うということを大前提に取り組んでいきたいと思っております。
佐藤英樹委員	今のICTの活用推進について、文部科学省では全国都道府県に教育アドバイザーを1名ずつ配置する、また、ICT支援員を令和4年まで4校に1名ずつ配置するという構想があるようです。秋田県は年度始まったばかりでそういう情報入っていないかと思えますけれども、そういう配置があったものかどうか。それから今後秋田県として、また北秋田市として、それについてどのように考えるかお伺いしたいと思います。
山田学校教育課長	ICT支援員については、先日、県の方から市独自のものがあるか調査がきたところです。ICT支援員という市独自の取り組みについては現在行っていません。ただ、前にもお話ししましたが、大阿仁小、阿仁合小、前田小の3校については、3校の遠隔授業ができるようにということで、1人の加配を県からいただいております。ICT支援員という名前ではありませんけども。
佐藤英樹委員	施策とは変わりますが、プログラミングの授業に児童生徒が入っているわけですが、北秋田市内には、一般の教科の塾のようにプログラミングに特化した塾があるのかどうか、そういう情報入っていたら教えていただきたいと思うのですが。
山田学校教育課長	プログラミングの授業に特化した塾については、情報は寄せられておりません。
佐藤英樹委員	実は、企業でプログラミングをやってきて、2年前に地元に戻ってきた教え子がおります。小学校でそういう授業が導入されているというのを耳にして、それだったら私の力になれる部分がないのかなということで、委員会でお伺いしたいなと思ひまして質問させていただいております。
津谷市長	佐藤英樹委員から情報いただきましたので、参考にさせていただきたいと思ひます。

佐藤英樹委員	<p>いくらかでも先生方の負担にならないように、そういうのでボランティアでも対応できれば、子どもたちのためになるのではないかと思いますのでよろしくお願いします。</p>
藤本委員	<p>今5年生の息子が、昨年度の2月にそのパソコンを使わせていただいて、立ち上げるともう自分の名前が出てきて、みんなすごく楽しく取り組んでいるということです。米内沢小学校では、専用の棚にきちんと整然と端末が入れられていて、また鍵のかかる部屋にまとめて置かれていて、とても大切にされているなど感じました。</p> <p>お聞きしたいのは、昨年度、保護者にアンケートがありまして、家にWi-Fiの環境がありますかとか、いろいろ質問されたわけですがけれども、例えば北秋田市では、実際に学校から子どもたちが持ち出して、長期の休みとか、もし緊急事態宣言で学校に行けなくなった時に、Wi-Fiの環境がない子どもにWi-Fiのルーターを貸し出すとか、課題をタブレットで取ってくるとか、そういった持ち出しの活用のところまで計画を考えられているのか、まだまずは使ってみようという段階なのか。今はタブレットが入れられるようなランドセルもできていて、県外では持ち帰ったときに壊してしまった場合、そういった時の保険はどうなっているのか等、いろいろな心配も出てきやすいですが、北秋田市では、今、どこまで計画されているのかを教えてくださいたいと思います。</p>
山田学校教育課長	<p>現在の北秋田市の計画では、先ほど言ったとおりは慣れるということと、それから持ち帰りについては、現在は課題と捉えています。</p> <p>文部科学省等では、細かく見ると課題を10点ほどあげています。例えばPCを守るという面をどうするか、簡単に繋がることよっての被害から子どもをどう守るか、家のWi-Fiのセキュリティですとか、細かく見ていくとそういうのがあって、まず可能な限りクリアしてからでないと、実際に持ち帰らせることはできないのかなというふうに考えているところです。特にセキュリティの部分と、先ほど委員がおっしゃったルーターですね、持っているかいないか、そういう予算的なものも含めて、一つ一つ解決に向けて取り組んでいかなければいけないなというところです。まずはその前に、学校の方はセキュリティがしっかりとしておりますので、学校でしっかり子どもたちの技能や気持ちを高めて、もちろん判断力を育てながらやっていかなければというところです。</p>
藤本委員	<p>4月に高校生の娘の授業参観に行った時に、国語の授業だったのですが、もう高校生は1人1台端末持っていました。グループでそれを使って話し合いをしていたのですが、先生のところで誰がどういう意見を出しているのかを、挙手しなくてもその人の意見を先生の手元でくみ上げてきたり、今まではいいことを考えていても、挙手できなくて、ちょっと拾えなかった子どもの意見とか感想を取り上げやすくなるのでは</p>

藤本委員	ないかと思っ見ていたりしてましたので、持ち出しではなくても、学校の中でもぜひ活用していただきたいと感じています。
山田学校教育課長	藤本委員がおっしゃったような授業での活用については、実践している先生たちも多数おりますので、それについてはしっかりとやっていると思っております。
蒔苗委員	大綱の方でもありましたが、施策の進行管理にPDCAサイクルを作るということですが、それは各学校別々にやるということですか。各学校の、例えば何かチェックされたところを教育委員会にあげて、それで全体的に改善に向かわせるようなことになるのでしょうか。
金田総務課長	PDCAサイクルにつきましては、今のところ各校というイメージではなく、各課というイメージで、例えば総務課は総務課、学校教育課は学校教育課の計画のPDCAサイクルによって進行を管理していきたいというふうに考えております。ただ学校教育課に関しましては、その下に各学校がございますので、そこはまた各学校によって違うと思しますので、難しい問題かもしれません。
山田学校教育課長	学校ごとのPDCAですが、各学校の校長、各学校とも、このPDCAの形で毎年しっかりとやっておりますので、それについては大丈夫と考えております。
蒔苗委員	その周期は、改善までの期間はどのくらいの期間で回すのですか。会計年度で回すのですか。
金田総務課長	蒔苗委員がおっしゃったとおり、会計年度でまずは回していきたいというふうに考えてございます。
蒔苗委員	例えば、ICTの関係でコンピューターの不具合があった場合には、すぐに対処しなければならないですね。そうした場合に、サイクルが会計年度だとちょっと不具合でなないでしょうか。
金田総務課長	目標の一つ一つの点につきまして、そういった不具合等、短い周期でどんどん改善できるようなことは、改善できるようなサイクルにもっていきたいと思いますが、また予算的な部分もございますので、次年度に向けての改善とか、その目標に応じてサイクルを設定できればと考えております。
山田学校教育課長	各学校においては、全体として大きなPDCAがあり、さらに1学期ごと、2学期ごとと短期でPDCAを組んでいくということもあわせて取り組んでおります。

津谷市長	<p>ありがとうございました。いろいろ大変参考になるご意見、またご提言もございましたので、それを十分参考にさせていただきながら、今年度の各種事業を進めていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>それでは次に移らせていただきます。生涯学習課お願いします。</p>
小塚生涯学習課長	<p>資料5ページをご覧ください。</p> <p>生涯学習課に関わる主な教育施策について説明いたします。</p> <p>1. 生涯学習事業の推進についてです。第4次社会教育中期計画の策定についてです。第3次社会教育中期計画は本年度最終年度を迎えることから、令和4年度から令和7年度までの4年間の計画を策定いたします。5月14日には11名の委員を委嘱しており、今後数回の会議を経て、令和3年度中の計画の策定に向け進めて参ります。</p> <p>公民館講座についてです。市民の生きがいや学習の機会を提供することが大切であることから、コムコムを含む各公民館が市民のニーズを聞くなど意見を取り込んでいますが、その他にも地域の課題解決となるような講座や、地域に還元できるようなものを提供していきます。今年度は37講座を開催する予定で、5月6日から募集しております。</p> <p>高齢者大学についてです。高齢者の学びと生きがいに繋がっていくもので、まさに生涯学習の本質であると思っております。合川、森吉、阿仁は、全体での活動となっております。鷹巣においては13のクラブに分かれており、自ら学び体験する活動が行われます。また、合同研修やその成果を発表する場も設定しております。今年は市内四つの大学で369人が入学しております。</p> <p>生涯学習事業の生涯学習フェスタ、冬の笑楽校です。生涯学習フェスタは、各種公民館講座で学習した成果を発表することで地域に還元し、今後の活動につなげることを目的に継続しておりますが、昨年はコロナ禍によりステージ発表を映像で流すなど、例年より縮小して開催いたしました。また冬の笑学校は、小学生を対象にして、学校ではなかなか学ぶことのできない体験をしてもらうため、地域の企業などの協力を得て開催しております。昨年は消防署の協力を得まして冬山遭難救助や、木育インストラクターの協力により、秋田杉のポスターづくりなどを行っております。</p> <p>2. 次代を担う子どもの未来につながる事業についてです。学校・家庭・地域連携事業です。学校運営協議会が市内小中学校13校すべてに設置され、地域学校協働推進員28名が学校と地域をつなぎ、お互いの考えを出し合うことで学校も地域も元気になっていくことを期待しています。</p> <p>放課後子ども教室です。放課後や週末の子どもの居場所づくり、豊かな人間を育む、地域の大人の参画で体験交流することで、地域コミュニティの充実が図られるものです。児童クラブ単位で行われ、22名の指導員の協力を得て活動しておりますが、指導員の確保が困難な地域もあります。家庭教育支援チーム「にこっと」は、地域のイベント等に出向いて子育て相談会としてやってきましたが、今年は9月に北欧の杜公園で行われるフローラルフェスタでの活動を予定しております。チーム員は8名となっております。</p>

<p>小塚生涯学習課長</p>	<p>放課後児童クラブです。放課後の児童の安心安全な居場所として、9施設15クラスで、今年は566人の児童が登録しております。社会福祉協議会に鷹巣地区の4施設8クラスを委託し、合川、森吉、阿仁の5施設7クラスを直営で運営しております。支援員、補助員は委託・直営と合わせて63人となっております。昨年度末に完成した清鷹小児童クラブは、4月1日から利用登録者81名、スタッフ8名でスタートしております。</p> <p>3. 北秋田市民ふれあいプラザについてです。来館者、利用者の利便性向上です。ここ数年の年間来館者数は、約27万人から30万人で推移しております。にぎわいを継続してはいたけれども、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、21万人と平年のおよそ4分の3となっております。特定の団体の利用に偏ることがないように、事前予約については3ヵ月前からとし、月4回までといったルールを制定しまして今年度から運用しております。現在のところ、この運用について特に意見等は寄せられておりません。引き続き、利便性の向上を図って参ります。</p> <p>子育て支援、ねまーる広場です。5人の保育士等がローテーションを組み合わせながら2人体制で、自由来館により子どもと親のスキンシップを図りながら、子育ての悩みを聞いたりしております。市外から来館する方も多く、子育て世代の一助となっております。コムコムでの研修等で預かりが必要な方のために、一時預かりもしております。</p> <p>チャレンジブースについてです。2ヵ所ありまして、起業前の助走期間としまして、2年間を上限に貸し出しているスペースです。現在は、ボディケアサロン「nico」と、足もみスペース「みっけ」が入っております。</p> <p>4. 「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産の登録推進についてです。昨年度、ユネスコの諮問機関であるイコモスの現地調査が9月に行われました。昨日、イコモスが勧告をしております。これを受けて7月16日から31日までの間で、ユネスコ世界遺産委員会がオンラインで審議されると聞いております。イコモス勧告に対応して、ユネスコ世界遺産審議の結果をパブリックビューイングで市民とともに見守り、登録の瞬間を一緒に喜びたいと考えてございます。これまでに地域の機運を高めるPR活動を継続する必要があるため、共通のロゴマークの活用や、協議会で作成した遺跡のパンフレットを活用するほか、コロナ禍でも活動できる防災ラジオ、SNS、ホームページ等でPRを図って参りたいと思います。</p> <p>5. 伊勢堂岱遺跡ボランティアガイド事業です。春のゴールデンウィークのガイドは、感染症予防を考慮しまして中止しております。現時点でのジュニアボランティアガイドの登録は40名となっております。状況にもよりますが、7月25日から27日まで事前研修を経て、8月7日から22日まで、ガイド体験できればと考えてございます。</p> <p>6. 文化活動施設についてです。文化会館や浜辺の歌音楽館については、定期的な企画や展示を実施しておりますが、コロナ禍で感染症の拡大する地域からの移動を自粛されている状況です。そういった状況でも開催可能な内容を検討して参ります。浜辺の歌音楽館については、米内沢小学校の学びの場として活用を進めて参ります。な</p>
-----------------	--

小塚生涯学習課長	<p>お、昨年からお土産として、クリアファイル、一筆箋、ハンカチ、ポストカード、オルゴール等も販売しており、昨年1年間で約30万円を超える販売額となっております。</p> <p>7. 市内の文化財等についてです。旧合川東小学校、旧合川高校、旧合川南保育園、阿仁前田収蔵庫に分散保管していた文化財を、旧鷹巣南小学校1ヵ所に集約するための移転作業を進めております。旧合川東小学校からの移転は5月中ですので、間もなく終了する予定でございます。その他の保管場所から移転は今後着手いたします。</p> <p>最後にここには記載ございませんけれども、今年、2年分行う予定でした成人式については、現在の状況を考えますと8月開催を断念いたしまして、1月の開催といったことで準備を進めております。</p> <p>以上、生涯学習課の説明でした。</p>
津谷市長	<p>それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見ご質問をお受けしたいと思っております。</p>
藤本委員	<p>公民館講座ですけれども、毎年募集の広報を見るのが楽しみで、いつも魅力的な講座を皆さん提案してくださっていると思って見えています。以前は、公民館講座を1年か2年やると、もうそれは1回終わって自主講座でしかできないとかありましたけれども、今はどうなのか。公民館講座はその公民館の特色がすごく出るので、また住民の方も、自分たちで事務局的なことをやってつなげていくのはなかなか大変なのかなと。やはり公民館で企画運営してくださると楽しく講座を受けられるので、多く楽しくやっていただきたいのですが、そういった縛りは今もありますか。</p>
小塚生涯学習課長	<p>ただいま委員がおっしゃったとおり、2年という縛りは現在もございます。なるべくいろいろな所で多くの人に体験していただきたい、更にそういった方が自主サークルのようにやっていただきたい、といった気持ちで2年ということを今も継続してございます。</p>
佐藤英樹委員	<p>世界文化遺産登録に向けての勧告、大変よかったなと思います。</p> <p>市教育委員会の点検・評価委員をやらせていただいて、いつ決まるかわからないのに、いつまで市の予算を出していくのだという話をさせていただいた記憶がありますので、本当によかったと思っております。7月に決まるようですけれども、決まった後、どのような形でこれを守っていくのか、遺跡を守っていくのか。</p> <p>それから、新聞によりますと、4道県13市町村の広いエリアの認定になっているのですが、差し当たり県内の鹿角市と連携して観光にも生かせるようなパッケージを、専門の方々のアドバイスを受けながら、内陸線と連携したパックでもよろしいと思いますので、いろいろなことを考えながら、今後、課として頑張っていていただきたいと考えております。よろしくお願ひします。</p>

<p>小塚生涯学習課長</p>	<p>北海道、青森、秋田、岩手と広範囲でございます。事務局は、今現在、青森県庁さんの方でやってもらっていただいていますので、そこに各自治体が集結して同一步調でいくといったことで進めてございます。また同じ秋田県であります鹿角市さんとも、常に連携をとりながら活動しているところでございます。先ほど委員におっしゃっていただいたとおり、世界遺産になることがゴールではなく、世界遺産になってからどうするかといったことが非常に重要だと考えてございます。生涯学習課のみならず、商工観光課や内陸線支援室、そういった市の他の部署及び秋田県とも連携して推進して参りたいと考えてございます。</p>
<p>佐藤正俊委員</p>	<p>昨日のNHKのニュース、そして今朝の新聞を見ました、本当におめでとうございました。佐藤英樹委員もお話しされましたが、登録された後のことが大事と感じます。</p> <p>私、一昨年、勤務しているあきたリフレッシュ学園の子どもたちと一緒に、遺跡群を数か所、時間をかけて回って見ました。その時、観光化し過ぎていて、何か道の駅にでも来たような、ちょっとおかしいなと感じたわけです。</p> <p>世界遺産を見に来たのに、「なんだこれ」と思われないような工夫をしてほしいと思いました。中には草がぼうぼうで、きちんと手入れしているのかなと思うようなところもありました。北秋田市はさすがにしっかり手入れされているなどは感じていますが、世界遺産登録されてからの後の、私たち市民もあわせてですが、大事なことはないだろうかと思いました。</p> <p>ある人に伊勢堂岱遺跡を見に行ったら、「行ったことがない。足がないもの」という返答でした。できれば、市民を大事にしてほしい。というのは、例えば1ヵ月に1回、コムコムから伊勢堂岱遺跡に乗り物が出ますよ、ということがあれば、行ったついでにちょっと見せてもらうかな、と寄り道することもできる。私はそれも大事な活動の一つではないかなと。やはり市民に見てもらいたい。高齢者も大丈夫だよ、とそういう宣伝が必要ではないかと考えました。</p>
<p>小塚生涯学習課長</p>	<p>ご意見ありがとうございます。ただ逆に、何か記念になる物は売っていないのですか、と言われるパターンもあります。縄文館の中ではごくごくわずかでございますが、遺跡に来た記念として買っていただける物を、数はかなり少ないのですが用意させていただいております。</p> <p>草刈に関しては、地元の小ケ田自治会の協力をいただきまして、草刈のみならず、以前熊が出たことがありますので、朝のパトロールから始め地元の協力をいただいて、環境整備を図っているところでございます。</p> <p>また市民にぜひということで大変貴重なご意見だと思っています。今現在、秋田県が高速道路の補償工事といたしまして、高速道路の上を走る道路をかけていますが、舗装工事を行っております。間もなくこの工事が終わるといふふうに考えてございますので、内陸線支援室と協議しながら、内陸線の縄文小ケ田駅から降りて徒歩で見学</p>

小塚生涯学習課長	できる、そういったことをもう少しPRして参りたいと考えてございます。
津谷市長	<p>佐藤正俊委員からもお話あったように、今後世界文化遺産登録になるとすれば、多くの方々に、地元の人たちにはやはり見てもらいたいと思います。アクセスをどうするかという話は、課長が話したように、内陸線で来た人が縄文小ケ田駅から歩いて行けるようなルートもできますし、あと、地元の方々の機運を高めるために、地元の人たちが何らかの交通手段で行けるような、そういうのを考えていく必要があるのかなということだと思います。貴重な御意見ありがとうございました。</p>
佐藤教育長	<p>遺跡の価値を伝えたり、価値を守ったり、そういったところが私たち教育委員会の仕事だと思っています。そのためには、ワーキンググループの方々に協力いただいたり、あるいは子どもたちを活用したりして伝えていくわけです。ここ何年か、遺跡に行ったことがないという市民調査の結果もあり、どうしようかということで、例えば一昨年の子どもサミットのテーマにして、話し合わせてみました。子どもサミットに出た子どもたちが、自分の学校で遺跡の魅力を宣伝する、自分の学校で宣伝するとその子どもたちがまた家族に宣伝する、家族が近所に宣伝してネズミ算式に増やしていったら、みんなに見てもらえないかというようなことをやってみたら、実は去年、伊勢堂岱遺跡を訪問する市民の数が増えているんですよ。県外ではなくて県内の人たちが増えているというような結果も出ています。コロナ禍でインバウンドが来られなくなった中で、一定の数を維持しているんですよ。昨年の数は、一昨年に比べて62%ぐらい、去年のコロナ禍の中でも入っているっていうのは、非常に高い数字だと思っています。これはこの辺の人たちが訪れたということですよ。</p> <p>そういったことで、この前はちょっと思わされたのが、今年、北陽中学校の修学旅行のコースになり、中学3年生は皆行ってみたいというのを聞いて、来週、9日に大館北秋田の校長会ありますので、ぜひ大館や近隣の校長方にも、修学旅行のコースとしても、あるいは社会科見学のコースにしても、北秋田市だけではなくて近隣も含めて、県内の学校の子どもたちにも勉強してほしいという方向で、宣伝していければいいなと思っています。</p> <p>昨年度の予算で、お土産をカードで買えるように整備しました。今年こうなるのではないかというのを予想しながら、市の方でも少しずつ整えてきていますので、今、コロナが落ち着いた段階で、インバウンドがまた入ってくれるようであれば、子どもたちの活動も合わせて、高校生のジュニアボランティアガイドもおりますし、英語でガイドできていければいいなというふうに思っています。いずれ他の世界遺産登録された地域の話を知ると、登録になるとものすごい数の人が押し寄せるといいますので、そういった情報を得ながら対応していければと思っています。本当に嬉しい出来事でした。</p>
藤本委員	<p>今月の初めに、子どもたちと3人で伺ったときに、ポスターにQRコードがついていて、それを読み込むと男性の声で説明が聞けるというのはよかったですと思いました。</p>

藤本委員	<p>また、娘が通っている能代高校にもジュニアボランティアガイドの募集が来ていて、明日締め切りだということで、先日持ち込みしたところ昨日のうれしいニュースを聞いて、ますます張り切って充実した夏休みになればいいなと思っているところです。よろしくお願いします。</p>
小塚生涯学習課長	<p>このコロナ禍ですので、ガイドがついてお客をご案内するのは非常に厳しい状況ですので、先ほど委員が紹介してくださったQRコードは非常にいいなと思っています。できればQRコードのようなものを、縄文館だけではなく遺跡の方で、例えばタブレットを見ながら、実際のストーンサークルを見ながらガイドを聞けるような体制であれば、今のコロナ禍を凌ぐには、すごく有効なツールになるのではないかなと考えています。ぜひ、そういったものをなるべく早く整備したいなとは考えていますが、残念ながらいつまで整備しますというような期限は、ここでは発言できないということをお許しください。</p>
津谷市長	<p>まだまだ尽きないと思いますが、いろいろお話がございましたので、参考にさせていただきながら事業に活かしていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。それでは、最後にスポーツ振興課からお願いします。</p>
藤野スポーツ振興課長	<p>6ページをご覧ください。</p> <p>スポーツ振興課の主な教育施策につきましては、市の第2次総合計画後期基本計画に記載しましたとおり、目指す姿を、スポーツを通じて市民が健康で活力のある元気な北秋田に掲げ、三つの基本目標の達成に向けて取り組みます。</p> <p>1. スポーツ環境の充実は、根幹をなす施設管理の中でも、毎年頭を悩ませております鷹巣体育館のメインアリーナの落雪対策工事。経費節減と照度アップを兼ねた体育施設全般のLED照明化に向けた検討と協議。老朽化による阿仁体育館閉鎖に向けた現在の定期利用者への会場変更の移行調整を予定しております。また、スポーツ推進員による、旧町地域単位での各種競技指導や運動教室の開催を予定しております。</p> <p>2. 生涯スポーツの推進とスポーツを通じた地域活性化は、スポーツ推進員や、市体育協会、加盟単位団体などと連携し、市民がスポーツに親しむ機会と場の情報提供を充実させること。チャレンジデーをはじめとする市民参加型のイベントや各種大会のPRと参加を促すこと。二つの縄跳び大会を実施し、世代や地域間交流の促進と活性化を図ること。昨年に続き開催の中止が検討されている100キロチャレンジマラソンについて、今後、ランナーとボランティアスタッフ、参加者拡大のためのPR活動に取り組んで参ります。</p> <p>3. 競技スポーツの向上は、ここ2年、合宿で市内の施設を利用いただいている実業団をはじめとして、市民との交流や実技指導、講演会や講習会など、意識と技術の高揚、スポーツ少年団単位団の育成者指導育成と若年層指導者の底辺拡大支援。昨年度実現いたしました、オリンピックなど一流アスリートによるスポーツ教室講習会の継続開催を予定しております。また全県大会以上に出場の児童生徒に対して出場費を</p>

藤野スポーツ振興課長	補助し、経済的負担を少しでも軽減するとともに、競技力向上の一助となるよう支援して参ります。
津谷市長	<p>ただいまの説明に関しまして、ご意見、ご質問をいただきたいと思いますが、鷹巣体育館、森吉スポーツセンター、新型コロナウイルスワクチンの集団接種の会場として使わせていただいています。そういう意味では、本来の使える状況となっておらず、スポーツ団体の方々に不便をおかけしておりますことを心からお詫び申し上げますとともに、何とかご理解ご協力をいただきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。</p>
佐藤正俊委員	<p>体育施設全般のLED化とありますが、相当な量だろうと思います。私の家でもほんの少し、価格があまり高いものだから、毎日生活している所だけ替えてみたのですが明るいですね。とても清潔感を感じます。それが地域でも、今、街灯は全部LED化して、少々明るすぎて蛍が見えないほどです。それで質問は、現在の照明をLEDに替えた時の電気料はわかっているものですか。</p>
藤野スポーツ振興課長	<p>試算というのはできてございませんが、実際今年に入ってから、市民プールについては指定管理者側でLED化しております。月額95,000円という金額で、リースで照明器具を取りかえて済んでおります。</p> <p>実際電気料の請求がまだきていませのでわかりませんが、かなり安く済む見込みです。今まで払っている電気代で間に合ってしまう。市長、副市長とも協議しましたが、そのデータを集めるための、各施設全部ですね、鷹巣体育館から合川から森吉も含めて、どのぐらいのリース金額で済むのかというのを今年出してもらう予定にして業者と話しております。新年度予算に間に合うように試算をすべくこれからの予定でございます。実際に森吉スポーツセンターでは、高い時で月額の電気料が40万円くらいかかりますので、相当な軽減になると見込んでおります。</p>
佐藤正俊委員	<p>スポーツ振興課だけでなく学校施設なども考えていくと、これからの大事な検討課題になっていくのかなと感じます。</p>
津谷市長	<p>若干補足しますが、スポーツ振興課長から話ありましたように、体育施設だと今はもう、蛍光灯含めてそういうものも使われなくなってしまいますので、LED化を進めなくてはならない。長持ちするし、電気料が軽減なるだろうという中で、先ほどお話があった屋内プールがリースでまずやってみるということです。その試算が出まして、それがもし、市の持っている体育館をはじめ各施設でも活用できれば、またそれを体育施設だけではなく公共施設でも活用できればと考えております。</p> <p>今まで我々が考えたことがなかった形もあるということもわかりましたので、精査をさせております。これが上手くやれるのであれば、電気料の軽減に繋がってくるのかなと考えています。もう少し調査の時間をいただきたいと思います。</p>

佐藤英樹委員	<p>1のポツの三つ目ですが、阿仁体育館閉鎖による現在利用者の調整とありますが、阿仁にも総合型スポーツクラブがあるわけですしけれども、主な活動拠点はここではないですか。</p>
藤野スポーツ振興課長	<p>おっしゃるとおりなのですが、スポーツクラブで今定期的に利用されているのがミニテニスなんです。あとそれ以外のものについては、場所によっては大阿仁出張所のホール等を使って卓球をやったりということで、今のところ当課で調整取っているのはミニテニスです。</p>
佐藤英樹委員	<p>スポーツを充実させるため、総合型スポーツクラブを作ってくださいということで、これまで各地区にお願いして作ってもらったクラブですので、やはりそういう代替への施設を市としてあらかじめ予定してこの調整をしていかないと、またいろいろと課題も出てくると思いますので、それを考えながら進めていただきたいと思います。</p>
藤野スポーツ振興課長	<p>佐藤英樹委員おっしゃられたとおりですので、調整はやはりかかると思います。たまたまタイムラグというか阿仁地区の学校の統合のこともあるので、それに合わせればちょうどいいのかなというも頭の中では描いておまして、それまでの間に学校の統廃合とか、阿仁の小中学校の学校開放も併せて、お話しております。</p>
藤本委員	<p>市民プールについてですけれども、水泳教室に通っている子どもが、中に入る前からもう照明が変わったことがわかるぐらいで、喜んで利用させていただいております。その子どもの水泳教室ですけれども、これまでは5時6時といった時間帯だったのですが、クラスが上がって、7時8時という時間に送迎することになって行ったところ、2階のトレーニングルームを、若い女性男性、先生方、たくさんの方が利用されているのを見て驚きました。もちろんその器具も充実していて、また一つ一つに消毒のことも書いていて、安心して良い器具を使うこともできますし、職員の方がすごくよく声をかけてくださって、また来たいと思える、長く通えるのはそういった職員の方々の雰囲気によさもあると思っています。</p> <p>また、一昨年、高校生の水泳大会にも利用されているようで、今年も6月上旬に水泳の大会があるということで、市外の方にも知っていただくよい機会で、いい方向に活用されているなど感じているところです。</p>
藤野スポーツ振興課長	<p>藤本委員がおっしゃられたとおり、照明全部点けるとまぶしくていられないくらいで、若干照明を下げたり、消したりして使わなければならないし、水も今まで見たことがない、プールの底まで見えるような状況で、全灯すると明るいので、所々を消したりして、それでまた電気料下がっているということで、まだ実績出てないんですけどもそれで様子を伺いながら、日の長い時期でもあるので、どうしても年間で見ると一番安上がりな時期ではあるんですけども、まず通年、冬場の日の短い時も実際の請求を見な</p>

藤野スポーツ振興課長	<p>がら、データ取りをしながらというところで、いずれどれだけ使っても修理しても月額95,000円というところは変わらないようですので、ちょっと見ていただければと思います。</p>
津谷市長	<p>それぞれ各課に対しまして、貴重なご意見、ご提言をいただきました。心から、感謝を申し上げます。ただ今のご意見、ご提言を考慮しながら、次年度にもつながるように、継続性を重視しながら施策を進めていただきたいと思いますので、よろしく願いをいたします。</p>
佐藤正俊委員	<p>次に案件の（３）意見交換に入ります。</p> <p>これまでも大分ご意見をいただきましたが、今日のお話に関係なく北秋田市の教育につきまして感じていることがございましたら、よろしく願いいたします。</p> <p>もりのまち北秋田、この大自然を活用した教育、やっている学校も結構あるのですが、もう少しこれを大々的にできないか。せつかくの大自然が森吉を中心にたくさんあります。滝、あるいは川、沼、ダム、そういうところの利用、もう一つはあきたリフレッシュ学園の学童センターの活用です。わざわざ本市から大館市の自然の家まで出かけて行ってやっている。そうしなくても、うちの方の施設を利用すれば、とてもいい環境の中で学習できるのではないかと思います。</p> <p>もちろんカヌー体験もできるし、川に入っただけのカジカ採りができるし、あるいはそこを中心にして滝めぐりもできるし、学校の教育活動の中に位置付けてやっていくと、ふるさとを愛する子どもたちを育てるためにはとても大事なことはないかと考えます。汚い川で泳ぐことはないし、本当に綺麗な川でカジカもたくさんいます。そういう中で、川は怖いんだよ、気をつけなさいよ、行かないでください、ではなくて、しっかり安全を確保しながらそういう体験をさせるということも、私は必要でないかなど。それは最終的には命を守るということに繋がります。ただプールに入って水泳の練習ではなくて、川に入って川の危険を身をもって覚えながら、それを安全教育につなげていくということも、私は必要でないかと考えます。</p> <p>そうすると、本市の学童センターの活用です。ただ、普段の日はあきたリフレッシュ学園の子どもたちがおります。夏休み、あるいは土日、そして、学童センター、あきたリフレッシュ学園の職員の活用。これは市教育委員会の協力ができないことです。うちの方にはキャンプ施設もある、炊事もできるようにしっかり準備はあるのですが使われていない。大変なお金をかけて作られたものです。それ一切使っていない。使いながら、子どもたちにいろいろな体験をさせることは、必要ではないだろうかと常々感じています。あのような施設はないですね。検討していただければ大変ありがたいと思います。</p>
金田総務課長	<p>名前が学童研修センターですので、本来は研修をするということが目的で、当初設置されたものでございます。今、佐藤正俊委員が言われたとおりのことだと思っております。学</p>

金田総務課長	校でどのような活用方法があるのか、また、言われた休み期間の活用方法については、検討させていただければと思います。
津谷市長	<p>国立市から子どもさんたちが来ていただいて、地元の人や小学生と触れ合っていて、命をいただくということで、鶏を解体したり、川に行ってカジカを採ったり、逆に都会の子どもたちの方がそれに慣れ親しんで、むしろ地元の子どもの方がやったことがない子がいるんですよ。それを羨ましがっている地元の子どものもいるし、そういう意味では今おっしゃったように、せつかくある施設だから、地元の小学生がそういうことをやってみる機会があってもいいのではないかと考えていたので、まさに我が意を得たりという感じではありますが、やっていく上でもう少し研究してみる必要があると思われる。</p> <p>田舎の子どもほど周りに田んぼがいっぱいあるのに、まだ田植えしたことがないという子どももいる時代です。豊かな自然がある、良い環境に育っている、ということもフィールドワークとしてやるべきなのかなという感じがいたしました。感想を述べさせていただきます。</p>
佐藤正俊委員	まず物がありますから。お金をかけなくても全部揃っているの。
佐藤教育長	<p>昨日、阿仁中学校の学校運営協議会に行って少し提案させてもらいましたが、この学校運営協議会の委員の方々の中でも、姫ヶ岳に登ったことがある人は1人しかいなくて、最近の子どもたちは誰も阿仁の上の山には登ったことがない。その山に登る計画をこの委員会で作ったらどうだっという話をしたら、早速校長が動いて、6月13日、鷹巣山岳会が阿仁の加賀谷さんを中心にガイドしてもらいながら、姫ヶ岳に登る計画があるということで学校からも校長が参加してみるという話をしていました。そういったふるさと教育も、今できた学校運営協議会、こういった人たちも含めてやっていくと、教員の働き方改革が言われている中で、地域の人たちをうまく活用して、一緒になってやっていければと思います。この前北欧の杜公園行ったら、前阿仁中の校長が勤めているんですけども、キャンプ場毎日満杯だ、と言っていました。北欧の杜公園キャンプ場が非常に使われている、今ブームなんですね。そういったことを考えると、学童研修センターの炊事場、パークゴルフ場をうまく使えばいいなと思いますので、夏休みとかですね、そういったところの活用を考えていければと思います。</p>
佐藤英樹委員	<p>全く別の話題ですけども、私、地域で幼稚園に近いということで、幼稚園の役員しばらくやらせていただいております。今のコロナ禍で、様々な国の補助事業を活用させていただいているわけですけども、北秋田市もそれに合わせて、保育、幼稚園については、過大な補助金を出していただいて事業を展開していただいて、大変感謝しているのですが、いつも園長とは、北秋田市ってここまで面倒見てくれて助かるよな、これを18歳まで、北秋田市が手厚く面倒見てくれるようなまちづくりをしていただけたら大変ありがたいな、という話を常日頃しております。高校も県立ではありますけれども、ぜひ小</p>

佐藤英樹委員	中学校と同じように支援いただければありがたいと考えておりますので、よろしくお願 いいたします。
津谷市長	<p>コロナ禍で、高校生までの子育て世帯、また、大学や専門学校でふるさとを離れて一 人暮らしをされる方々、このコロナ禍で帰って来るに帰って来られない、アルバイトを したいけれどもできないという、そういう人たちに対しての支援をしました。そういつ た家庭の支援、本人に対する支援は手厚くやっていますが、100点満点の施策というの は、何が100点満点なのか、何が正解なのかというのがなかなか出せない中で、いろい ろ試行錯誤を繰り返しながら、緊急経済対策をやらせてもらっていますので、もし、い ろいろな角度からご助言とか気がついたことをお知らせいただければ、何とかそれなり に苦しい懐状況の中でも頑張っていきたいと思います。</p>
佐藤英樹委員	ありがとうございます。
津谷市長	<p>他にございませんか。なければ、意見交換の方はここまでとさせていただきます。 貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>それでは本日の案件、すべて終了しましたので、進行を事務局にお返しいたします。</p>
小坂教育次長	<p>津谷市長、大変ありがとうございました。</p> <p>次第の5その他になりますけれども、これまでの案件以外に委員の皆様から何かござ いますか。</p> <p>なければ、以上をもちまして、令和3年度第1回北秋田市総合教育会議を閉会いたし ます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>

(午後3時10分 閉会)